

Law & Technology 112号

◆論説・解説◆

- 不正競争防止法2条1項21号における「信用への影響」の考慮と近時の裁判例
——パテント・リンケージに係る特許権者の通知およびプラットフォームへの権利侵害申告——
中京大学教授 高野 慧太 1
- 仮想空間上の商品デザインの保護をめぐる動き——近時の裁判例の影響を睨んで——
大阪大学准教授 青木 大也 12
- パテント・リンケージ制度に基づく意見提出行為の差止めを求める仮処分と
後発医薬品の製造販売の承認の関係——司法過程と行政過程の整合性の観点から——
京都大学教授 仲野 武志 19

◇知財訴訟の論点◇

- 存続期間の延長登録に関する諸問題 知的財産高等裁判所判事 菊池 絵理 30

❖協議会❖

- 2025年度 大阪高等裁判所第8民事部および大阪地方裁判所
第21・26民事部と大阪弁護士会知的財産委員会との協議会 40

-
- ▶最新知財判例紹介（令和8年1月～令和8年3月） 63

▶行政解説

- 知的財産侵害物品の水際取締り
——知的財産侵害物品の差止状況、財務省関税局・税関における最近の取組み——
財務省関税局知的財産調査室長 金山 茂明 97

▶リレー連載コラム ある日の知財弁護士 #62

- 知財弁護士の魅力 大住 洋 104